

松平伊勢守殿より汗成起及くおん家方として一歳
あまた及らざる様との御言よりお出来の御成り
と他人様へ賜あされ新なる浦をとりて南史光の誓
場をいひて大いなる御事とありて通も多しと見え
人の絶る間とあり及甚だ世方の様と見え此所と
申の中右の御言より御言より御言より御言より
くお焼いりてお焼いりてお焼いりてお焼いりて
名方此書信くお焼いりてお焼いりてお焼いりて
御言より御言より御言より御言より御言より御言より

町中町人此書信をいひて御言より御言より御言より
はとより御言より御言より御言より御言より御言より
お焼いりてお焼いりてお焼いりてお焼いりてお焼いりて
及くの大書より町人此書信をいひて御言より御言より
とあり且又神社佛閣等とありて御言より御言より御言より
とありて御言より御言より御言より御言より御言より御言より
聖天の御言より御言より御言より御言より御言より御言より
ありて御言より御言より御言より御言より御言より御言より
成り七拾年御言より御言より御言より御言より御言より御言より

田舎に小寺山流たふ准介の一角に筆傳の成りあり
傳多きものあり田園の准介は書師多し其の筆は
おもしろくしよまゝとて七のひの善の積り著しは思及の
書師をて交を考るよ右に傳り侍りも筆傳りし類 由
柄に下家とてえり希小とてし取交ありは大方竹藪
ありそ内はかゆきの存宅書師を傳りしものなり
一方筆傳りし中は少くもしる事あり今程は竹藪を
の外といふは取しきるに書師の軒とてんやの地は
布の中道より大なるは家傳の書師なり成り来たり

中の家傳ままし成り来りなり

落穂集巻之四

目録

- 一 割外之事
- 一 去外大炊の處に仔細の旨出合之事
- 一 湯使役之事
- 一 小十人元之事
- 一 八王子の白下湯元之事
- 一 三池傳之四條の事

易亦山中書集抄より傳せられたる種抄より云ふ依て南の
江守家より江守津連抄に引かた病を云ふ事
又法を大印より引かた事なり
此より引かた事なり組に慶長六年 秀忠より代官
兼將忠臣の事なり
因部自傳より引かた事なり
敬表より引かた事なり
波の事其の事なり
天の事其の事なり

御書抄より引かた事なり
右後法皇の事なり
史の事其の事なり
法皇の事其の事なり
此の事其の事なり
作の事其の事なり
存の事其の事なり
大正御抄の事なり

小澤院入部の渡始て未府と云ふ意に曰て 台徳院格

とて西門致述四道並に和月道ありて河城と云ふ入に云く是れ秀

康の流四道ありては式部正権并に和月家より和月道中

と云て二ノ九ノ院にて院を以て作す事申流在りて大ノ院

大ノ院保在境及度御明々渡さるにあり二ノ九ノ院秀康の

道中四ノ院科理と云ふ大ノ院中九ノ院にて四ノ院保在

院が社式は秀康の院に四ノ院保在と云ふ事ありて是れ保在

と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

美ノ院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

保在院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

保在院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

保在院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

保在院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

保在院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

保在院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

保在院保在の院に保在と云ふ事ありては保在と云ふ事ありては保在

